

令和4年度のがん検診の実施状況について

令和4年度を受診率（70歳未満）は、48.0%

福井県では、平成30年3月に「第3次福井県がん対策推進計画」を策定し、がん予防・早期発見・治療日本一を目指して、令和5年度までに各がん検診の受診率50%を目標にしています。

令和4年度のがん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん）の受診率（70歳未満）は、48.0%となり、令和2年度から続くコロナ禍において、対前年度比1.5ポイント上昇しました。がん種別の受診率は、胃がん31.9%、肺がん62.2%、大腸がん47.1%、子宮頸がん42.9%、乳がん49.6%となっています。

◆令和4年度がん検診受診者数と受診率

がん種	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	5がん
受診者数	63,083	187,332	141,853	94,729	74,804	561,801
受診率	31.9%	62.2%	47.1%	42.9%	49.6%	48.0%

◆がん検診受診率の推移



※この受診率は、県内の市町と職域を合わせた全数調査により、福井県が独自に算定。

※子宮頸がん、乳がんは市町・職域検診とも隔年受診が原則であるため、当該年度および前年度の2年間の受診者数を基に受診率を算定した。

※平成29年度より、胃がんの市町検診は、隔年受診が原則となったため、当該年度および前年度の2年間の受診者数を基に受診率を算定した。

今後は、各がん検診の受診率50%達成に向けて

- ① 全市町の住民が受診可能な広域集団検診の実施
- ② 職域検診や個別検診の推進による受診機会の拡大
- ③ 県内検診機関および受診勧奨センターによる未受診者への再勧奨の強化
- ④ 地元メディアやSNS等を活用した受診啓発活動

(参考)

○福井県の独自調査による受診率の算定について

国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき受診率を算定しています。

種類	対象年齢	受診間隔	県内対象者
肺がん	40～69歳	毎年	301,199人
大腸がん	40～69歳	毎年	301,199人
胃がん	50～69歳	2年に1回	197,525人
子宮頸がん	20～69歳	2年に1回	220,574人
乳がん	40～69歳	2年に1回	150,924人

対象者：令和2年国勢調査より算出